

スタジオから

- 4月から6月にかけて、打合せ、取材、ロケに集中していた作業が次第にスタジオに移り、スタジオ稼働率も驚くほど上りました。テレビスタジオだけみても7月は92.8%の稼働で、まずはフル操業といった状況です。
- 7月から新しく収録を開始したシリーズは次のとおりです。

テレビ 基礎化学，日常生活と法

ラジオ 比較経済，経営，社会

- 番組制作でいつも苦勞するのはロケですが今回もその話題を一つ。

安岡ディレクターの担当する「行動科学」では取材の範囲はゾウリムシから人間まで巾の広いものですが、7月はハトのお相手をしています。

腹をすかしたハトが実験箱の光源をつつくとエサがとび出し、しかもそれが1分間に1つしか出ない仕組みのなっている装置のなかで次第に学習をつみ重ねると時間がくればハトは猛然と光源をつゝきだすようになる実験を研究室に通ってロケしています。この取材は番組のなかでわずか数分の映像になってしまいますがロケの開始から終了までハトの学習過程をおって約1か月。番組制作とは気の遠くなるような時間を必要とするものです。

- 放送大学学園の堀江制作部長が7月17日付で退任、新しく木内実喜夫氏が就任されました。放送大学学園と放送教育開発センターの制作部が今まで以上に協力し合って、期待に応えられる番組を制作していきたいものです。

☆ スタジオ見学者（7月）

- 財団法人 社会通信教育協会
- 日本能率協会
- 君津地方社会教育研究会
- 千葉県総合教育センター
- 大蔵省